

徳島県治山林道協会

治山林道協会報

新年のあいさつ

徳島県治山林道協会会長 山口俊一



令和四年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、ご壮健で新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より本県の治山林道事業推進に格別のご支援、ご協力をいただき、重ねて厚くお礼を申し上げます。

さて、今年の干支は「壬寅（みずのえ・とら）」でございますが、「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊む」、そして「寅」は「蟻（ミミズ）に通じ、春の草木が生ずる」という意味があります。このことから、「壬寅」は冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になると言われています。

昨年は、一月早々にコロナ対策として緊急事態宣言が発令され、一端解除されたものの、再度宣言されるなど、一向に収束が見通せない中で、社会経済活動が大幅に制限されたため、日常生活のみならず経済社会全般に大きな影響を及ぼした一年でした。

また一方、世界に目を向けますと、アメリカでは、大統領選で勝利した民主党のジョー・バイデン氏が新大統領に就任し、トランプ前大統領が離脱していた国際的な条約・協定への復帰または離脱取り下げを行使し、国際協調へ急転換する動きを見せました。しかしながら中国とは、人権やハイテク、そして台湾を巡り、今なお、せめぎ合いが継続しており、アメリカ・中国の冷戦状態は、安全保障をアメリカに、経済を中国に大きく依存している日本にとっては、難しい舵取りを迫られました。

この様に国内外において課題の多い中、本県での豪雨等による自然災害は二年連続で少ない年ではありませんが、全国に目を移せば、七月から八月にかけての九州地方をはじめ各地の記録的な豪雨により、河川の氾濫や土砂災害が発生し、多くの尊い人命や貴重な財産が失われました。まさに、「国土強靱化に係る取り組み」の更なる加速化は、待った無し状況にあります。

このため、林野公共事業におきましては、国民の皆様の生命と生活を守るべく、森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能のより一層の強化に向けて、事前防災・減災や災害に強い森林づくりによる「緑の国土強靱化」、そして「グリーン成長」の実現を目指した「森林吸収源確保」「林業の成長産業化」に係る「林道を核とした基盤整備」を推進するため、更なる予算確保に向けて、「二〇二二治山・林道のつどい」をはじめとした各種要望活動を展開して参りました。

その結果として、「防災・減災、国土強靱化のための五カ年加速化対策」、「総合的なTPP対策」、「カーボンニュートラル実現に向けたグリーン成長」などの林野一般公共事業予算（治山・森林整備）は、令和三年度補正予算と令和四年度当初予算と合わせますと、一、七〇〇億円に達し、目標額である二、六〇〇億円を四年連続でクリアすることが出来ました。

昨年十月末の衆議院議員総選挙では、皆様方のご支援ご協力を賜り、引き続き国政の場へ送り出させていただきました。そして、前国会からは議院運営委員長として、議会を運営する立場となりましたが、これからも「予算の確保」、そして「事業の着実な執行」にあたりましては、当協会の会長として、また、「森林整備・治山事業促進議員連盟」（社）日本治山治水協会・日本林道協会」の会長として、これまで以上に治山林道事業の推進に精一杯努力して参ります。

今年、十二支の三番目で、「成長」や「始まり」を表す「寅年」です。令和になって初めての寅年、令和四年の皆様と一緒に、長い冬であった「コロナ禍」そして「災害列島」を克服し、希望に満ちた年になることを心より願っております。

結びとなりますが、今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員皆様の更なるご活躍、ご健勝を心より御祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

● 新年のご挨拶	徳島県知事 飯泉嘉門 …… 1	● 「ドローンを活用した災害時情報収集演習」の実施について …… 11
● 新年のご挨拶	徳島県農林水産部長 森口浩徳 …… 2	● 年男の抱負 …… 12
● 治山林道事業に関する知事への要望 …… 3	● 2022年度版 全森建福祉共済制度 …… 13	● とくしま木づかいフェア2021への出席 …… 15
● 「2021 治山・林道のつどい」及び治山・林道コンクール表彰式の開催 …… 5	● 本協会の主な動向(10月～12月) …… 15	● 編集後記 …… 15
● 森林整備・治山事業促進議員連盟「緊急決起大会」の開催 …… 7		
● 令和3年度「全森建」技術・労働委員会開催 …… 8		
● 治山林道技術研修会開催 …… 9		

目次

CONTENTS

新年のご挨拶



徳島県知事

飯 泉 嘉 門

明けましておめでとございます。

徳島県治山林道協会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との闘いが二年に及ぶ中、昨年は、全国的にワクチン接種が進むとともに、「ワクチン検査パッケージに関する技術実証」が進められるなど、日常生活回復への兆しが見え始めました。私も、全国知事会会長として、「地方の総意」を国に届け、小学校六年までの少人数学級実現に向けた「義務教育標準法」四十年振りの改正や、徳島県治山林道協会の皆様にも後押しいただいた「防災・減災、国土強靱化五か年加速化対策十五兆円」の創設など、国難打破に向け、国と心を一についで対策を進めて参りました。

一方、県内では、「感染拡大の防止」と「社会経済活動の維持」との両立に全力を傾注して参りました。「感染拡大の防止」では、「とくしまアラート」による注意喚起や帰省者等へのPCR検査受検支援を行うとともに、医療従事者はじめ関係者のご尽力のもと、国の目標を上回るペースでワクチン接種を進めることができました。また、「社会経済活動の維持」では、国の持続化給付金のモデルとなった融資連動型「新型コロナウイルス対応！

企業応援給付金」、新しい生活様式の実装を支援する「WITHiコロナ」『新生活様式』導入応援助成金』、累次にわたる『とくしま応援割』や各種プレミアム券の発行など、事業者の皆様の「業と雇用」を守って参りました。

森林土木分野では、「五か年加速化対策」スタートの年として、これらの予算を積極的に活用し、治山事業二十九カ所、林道事業三路線の災害復旧や事前防災対策を全力で進めて参りました。また、平成三十年七月豪雨により甚大な被害を受けた三好市山城地区では、事業規模が著しく大きいことなどから、復旧工事の長期化が懸念されておりましたが、令和三年度から「民有林直轄治山事業」の採択を受け、昨年四月、事業着手されるなど、早期かつ確実な復旧に向けて、大きく前進させることができました。

さて、今年の干支は、「壬寅（みずのえ・とら）」。「壬」は「妊・任」に通じ、万物が生まれることから「育む責任を持つこと」を表し、「寅」は「演」に通じ、進展を意味する一方、「必ずしも順調には進まないこと」を暗示します。そこで、「壬寅」は、「あらゆる分野で新たな展開を迎えるものの、必ずしも順調とはいえず、各自が一層責任を持って任務に当たることが不可欠となる年」とされます。

今年、約百四十年ぶりに「成年年齢」が改正、十八歳へと引き下げられます。県内では、徳島南部自動車道「徳島JCT・徳島沖洲IC間」が開通予定、これにより沖洲地区及び津田地区は名実ともに「四国のゲートウェイ」へと生まれ変わります。また、三年ぶりとなる「とくしまマラソン」、本県で「総合開会式」が実施される「躍動の青い力・四国総体2022」が開催されます。

そして、平成十六年七月、台風十号の記録的な豪雨により大規模山腹崩壊が発生した那賀町阿津江地区では、平成二十年度から十四年にわたり進められている「民有林直轄地すべり防止事業」による復旧整備が、いよいよ今年度末をもって完工の運びとなります。

今後とも、頻発化・激甚化する大規模自然災害を迎え撃つ「県土強靱化」を加速し、安全・安心な地域社会の構築に取り組むなど、「アフターコロナ新時代」の幕開けに積極果敢に挑戦して参りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、徳島県治山林道協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



徳島県農林水産部長

森 口 浩 徳

新年明けましておめでとうございます。徳島県治山林道協会の皆様には、つづがなく新しい年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平素より、治山林道事業をはじめ、本県農林水産行政全般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、世界各地で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の拡大と長期化は、我が国はもとより世界経済に大きな影響を及ぼしており、アメリカの新築住宅需要の高まりに端を発した世界的な木材価格の高騰と木材製品の不足、いわゆる「ウッドショック」と呼ばれる状況を生み出し、我が国の林業・木材産業にも大きな影響を与えました。本県においても、輸入材の割合が高い加工工場で減産を余儀なくされたほか、工務店でも、住宅の着工や工期の遅れが生じるなどの大きな混乱を招きました。

これを受け、県では、こうした「ウッドショック」による県産材の需要の高まりを捉え、「輸入材」から「県産材」への転換を加速させるべく、「県産材の増産」を担う林業事業体に対する高性能林業機械等の導入や、新たな県産材需要に対応する製材工場への人工乾燥施設の導入などの支援に加え、森林整備や木材生産の基盤となる林道等の路網整備を積極的に進めて参りました。

一方、近年、豪雨災害が増加する中、昨年七月及び八月の「梅雨前線豪雨」等では、記録的な大雨をもたらした。東海や中国、九州地方を中心に全国各地で土砂災害が発生し、多くの尊い人命や貴重な財産が失われました。また、九月には本県南部で「線状降水帯」が発生し、四国で初めてとなる「顕著な大雨に関する情報」が発令され、下流域では多くの浸水被害が発生するなど、自然災害は頻発・激甚化の傾向が続いております。

こうした中、徳島県治山林道協会をはじめ県や全国知事会からの度重なる提言により、新たに創設された「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」を積極的に活用し、初年度となる今年度は、二十九カ所の治山施設で復旧・予防対策、三路線の林道で開設・改良工事を実施するなど、早期の災害復旧や事前防災対策に取り組んできたところであります。

さらに、年末の経済対策に盛り込まれた国補正予算にしっかりと呼应し、速やかな執行を図るべく、十一月補正予算として関連予算を編成したところであり、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水プロジェクト」とも連携を図りながら、更なる「防災・減災、国土強靱化対策」を推し進めることとしています。また、去る十二月二十四日に決定した国の概算予算を最大限に活用し、さきの補

正予算と合わせた「十六か月予算」として、令和四年度当初予算を編成することとしており、切れ目のない事業展開を図って参ります。

また、日頃から、山地災害や土木技術に関する専門知識を有する「山地防災ヘルパー」の皆様には、危険地区の情報提供や点検・パトロールについてご協力をお願いしているところですが、昨年は制度の創設以来初めて二百名を超える体制が構築されました。今年度は、「山地防災ヘルパー」の更なる増員に加え、「ドローン」をはじめとするICTの積極的な活用による、安全かつ効率的な点検や情報一元化など、地域と一体となり、いち早く、より広範囲に災害の兆候を把握できるように取り組んで参りたいと考えております。

今後とも、こうしたハード・ソフト両面からの対策を一体的に進め、猛威を振るう自然災害に備える「緑の国土強靱化」に全力で取り組んで参る所存ですので、協会会員の皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、徳島県治山林道協会のおますますのご発展と会員の皆様のご健康、ご活躍を祈念申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願い、新年のご挨拶とさせていただきます。

治山林道事業に関する 知事への要望

令和三年十二月二十日、飯泉徳島県知事に対し「治山林道事業に関する要望」を、山口会長はじめ役員十二名で行いました。

要望の主な内容は

- ・「防災・減災、国土強靱化のための五か年加速化対策」を着実に推進するために必要な予算の安定的・継続的確保
- ・大規模災害に備えた事前防災・減災対策、復旧対策の充実と強化など「緑の国土強靱化」の推進
- ・「森林吸収源対策」の強化や「林業の成長産業化」に資する林道を核とした路網整備の推進
- ・山間奥地、急斜面等条件不利地での設計積算について更なる見直しによる現場条件に応じた適切な費用の確保

以上四点について、令和三年度補正予算を含め、令和四年度当初予算編成に向けた要望を行いました。これに対し知事からは、引き続き「防災・減災、国土強靱化」「森林吸収源対策」に取り組みとともに、国の経済対策に速やかに連動した「十六ヶ月予算」を措置し、しっかりと具現化していきたいとの力強いお言葉をいただきました。要望事項は次の通りです。



治山林道事業に 関する要望書

平素は、治山林道事業の推進並びに本会の活動につきまして、格別の御配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、森林は、国土の保全や水源の涵養、地球温暖化防止等の多面的機能を有し、私たちの豊かな暮らしを育むなど、県民の生活に欠かすことのできない重要な役割を果たしております。

一方で、近年、気候変動の影響に伴う豪雨等により、全国各地で山腹崩壊や林道の決壊等甚大な被害が多発しており、今年も東海地方をはじめ各地で記録的な豪雨により河川の氾濫や土砂災害が発生し、多くの尊い人命や貴重な財産が失われました。

また、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、社会経済活動が大幅に制限され、山村の地域経済は疲弊し、森林・林業を取り巻く現状は厳しさを増し

ております。

このような状況の中で、山村経済を活性化し、地方創生を実現するため、国産材の安定供給体制の確立に向けた生産基盤の整備や、再造林等適正な森林管理をより一層推進することが喫緊の課題となっております。

また、頻発化する台風・前線等に伴う「豪雨災害」や近い将来発生が危惧される「南海トラフ巨大地震」、「活断層地震」などの「大規模な自然災害」に備える山地防災力の強化が強く求められています。

これらに対応するためには、山地災害等に対する事前防災・減災対策の推進や効率的な林業経営に向けた幹線林道整備の加速など、「緑の国土強靱化」に資する治山林道事業の円滑な遂行が不可欠であります。

つきましては、県の財政事情が非常に厳しい中とは存じますが、令和三年度補正予算を含め、令和四年度当初予算編成にあたりましては、次の事項について、

特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- 「防災・減災、国土強靱化のための五年加速化対策」を着実に推進するために必要な予算の安定的・継続的確保
- 集中豪雨や台風、南海トラフ、活断層帯の地震による大規模災害に備えた事前防災・減災対策、復旧対策の充実と強化など「緑の国土強靱化」の推進

- 「グリーン成長」の実現を目指した「森林吸収源対策」の強化や「林業の成長産業化」に資する林道を核とした路網整備の推進

- 山間奥地、急斜面等条件不利地での施工における設計積算について更なる見直しによる現場条件に応じた適切な費用の確保

令和三年十二月

徳島県治山林道協会 会長

山口 俊一

「2021治山・林道のつどい」及び 治山・林道コンクール表彰式の開催

令和三年十一月二十四日、東京都内の海運クラブ二階ホールにおいて、「2021治山・林道のつどい」が、全国治山林道協会会長会議の主催で開催されました。

今年度は、八九名の国会議員を迎えるとともに、本協会員をはじめ、全国森林土木建設業協会、日本林業土木連合協会及び各都道府県治山林道関係者、更には全国各地よりウェブによる参加があり、昨年とほぼ同じ約四〇〇名の方々が参加されました。

この「つどい」は、頻発する山地災害や森林・林道被害を受け、地域の社会基盤である森林・山村を守るため、治山事業及び森林整備事業による「緑の国土強靱化」、「森林吸収源対策の着実な推進」に不可欠な林道等路網整備の強力な推進に向けた林野公共事業予算の確保・拡充を実現するため、関係者一丸となった要請活動として行われました。

山口会長の挨拶、金子農林水産大臣からの激励の言葉に続き、林野庁小坂



2021 治山・林道のつどい



金子農林水産大臣からの激励の言葉



山口会長の挨拶

森林整備部長から林野公共事業の必要性を訴える「基調報告」、そして現場の第一線でご尽力されている県協会長による「現場からの声」の後、「林野公共事業予算の拡充に関する決議文」が採択され、盛会のうちに終了しました。

翌二十五日には、県担当職員とともに、本県選出の国會議員に対し、決議内容について要望活動を実施し、各事項についてご理解ご賛同をいただきました。

また、「つどい」に引き続き、令和三年度治山・林道コンクール表彰式が行われました。本県では、林野庁長官表彰二名をはじめ、併せて五名の方々が各賞を受賞されました。

受賞者の皆様方は次のとおりです。誠におめでとうございます。

治山・林道コンクール表彰者

林野庁長官賞

●第四十四回林道維持管理コンクール

美馬市長

藤田 元治
美馬市 杖立線

●第三十七回民有林治山工事コンクール

株式会社井上組

井上 惣介
つるぎ町 緊急総合治山事業 小谷

日本治山治水協会会長賞

●第二十二回民有林治山木材使用工事コンクール

徳島県東部農林水産局森林整備担当

上勝町 復旧治山事業 百合出尾

日本林道協会会長賞

●第三十七回民有林林道工事コンクール

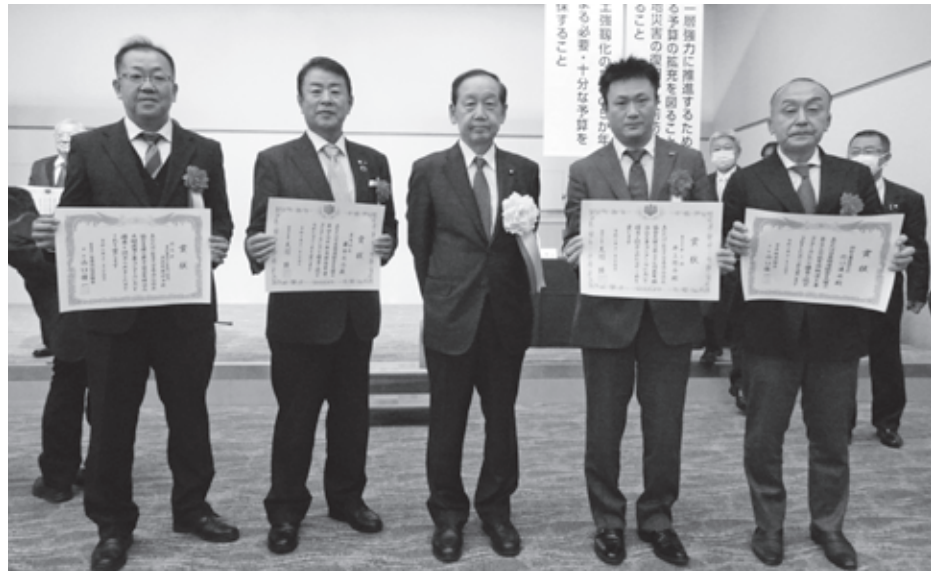
昭和工業有限公司

出口 達也
三好市 日和茶坂瀬線奥ノ井下工区

●第二十二回民有林林道木材使用工事コンクール

勝浦建設株式会社

上勝町 大川原旭丸線亀田ヶ丸工区
廣安 稔子



受賞者と山口会長



林道維持管理コンクールにおいて、長官賞受賞



森林整備・治山事業促進議員連盟「緊急決起大会」の開催

令和三年十一月二十六日午前九時から、森林整備・治山事業促進議員連盟「緊急決起大会」が自民党八階リバティ2・3において開催されました。

昨今の激甚な災害の発生等を踏まえ、国民の安全・安心な暮らしを実現する「緑の国土強靱化」、林業成長産業化の実現のための「基幹林道等の路網整備や再造林の推進」等に向けた林野公共事業は不可欠であり、令和四年度当初予算を確実に措置確保するとともに、国土強靱化に向けた予算も含め林野公共事業予算の一層の増額を目指し、一致団結してこれに対処するため、関係者が集結しました。

新型コロナウイルス感染症の完全な収束が見通せない中ではありましたが、国会議員四五名をはじめ関係者約一五〇名の方々が参加されました。

冒頭で山口会長から「来年度に向けて、補正予算も併せた『十六ヶ月予算』として、林野公共事業予算二、六〇〇億円を大きく上積み出来るよう、関係者一丸となって取り組んでいきたい。」との力強い挨拶に続き、現場の第一線でご尽力されている阿智村長・南島原市長からの切実な「現場の声」の後、決議文が採択され、山口会長から、「関係者の心をひとつにして予算獲得に頑張っていこう」との決意表明で、盛会の内に終了しました。



山口会長挨拶



「緊急決起大会」開催状況



阿智村長による「現場の声」



全国各地から集結した国会議員

令和三年度「全森建」技術・労働委員会開催

令和三年十一月二十四日、東京都千代田区永田町ビルにおいて、「全森建」技術・労働委員会が開催されました。当委員会は、徳島県治山林道協会施工委員会の全国版に相当するもので、年一回開催され、各都道府県協会から提出された設計・積算等に関する改善要望事項について、林野庁と意見交換を行うものです。

林野庁からは、計画課施工企画調整室・整備課・治山課の各設計積算担当官に御臨席いただき、全森建からは、山藤委員長（群馬県森林土木建設協会会長）ほか各地区代表者十二名の委員が参加しました。

今年度は、各協会から三十一件の要望事項が提出され、それぞれの内容に応じて「設計」「歩掛」「積算」「工期」「その他」に区分し、林野庁の考え方を説明いただきながら意見交換を行いました。

本協会は、四国地区代表として、「森林土木工事の施工条件の特性等を踏まえた適切な事業の推進」に向けた次の六件を要望しました。これらの要望については、本委員会における議論を踏まえ、令和三年度末を目途に林野庁の対応等について整理していただくこととなりました。今後とも本協会施工委員と連携し、地域の実情に応じた要望をあげていきたいと考えております。

◎ 四国地区要望事項

- 積算関連 林道工事独自の間接経費率の設定
- 林道工事における現場条件に合わせた労働単価の設定
- 治山工事における現場条件に合わせた労働単価の設定
- 治山工事における仮設工（乗用モノレール）設置の標準化
- 工期関連 現場条件等に応じた標準工期の見直し
- その他 工事発注の平準化等に向けた国庫債務負担行為の活用



山藤委員長挨拶



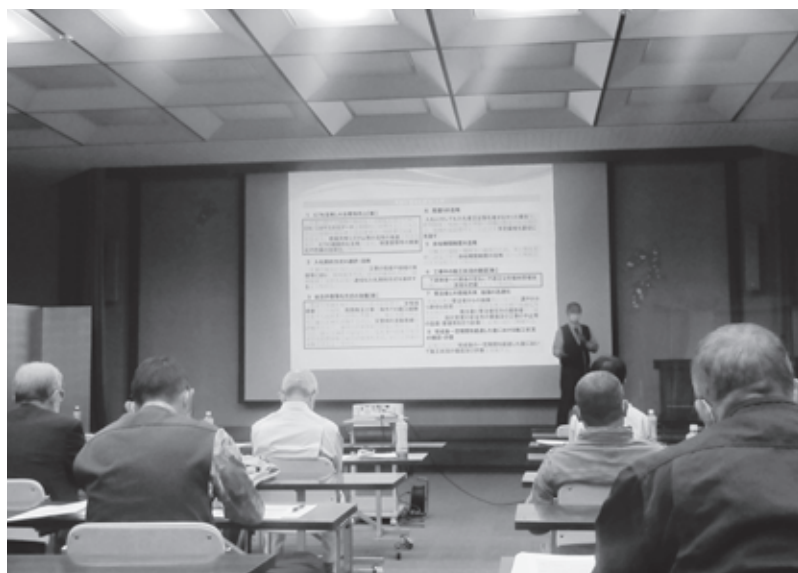
四国地区要望事項を説明する井関専務



技術・労働委員会開催状況

治山林道技術研修会開催

令和三年十月二十五日から二十七日の三日間において、徳島県建設業協会及び徳島県のご協力のもと、令和三年度治山林道技術研修会が開催されました。今年度の技術研修会においても、新型コロナウイルス感染症対策として「三密回避」のため、会場を西部・東部・南部に三分割し、連日開催しました。



研修状況

更には西部会場において、会場をメイン会場とサテライト会場に二分割し、ZOOMを活用することにより、メイン会場からサテライト会場へ研修状況をwebで配信する方式を採用しました。初日の西部会場を皮切りに、講師の諸先生方により、「近年の山地災害の発生事例から学ぶ事前防災・減災対策」、「安全で事故のない現場管理」、そして「日々変貌する労働環境の変化への対応」など会員の技術力向上を目指した研修を実施し、四会場で約一六〇名の方が受講されました。



ZOOMによる研修状況の配信

また、受講者には全国土木施工管理技士会連合会の継続教育学習制度（CPDS）の受講証明書（Gunit）を交付しました。今後とも、会員の皆様方の受講機会を増やすとともに、ZOOM等の活用時の音質、画質の向上に努めて参ります。研修の講師及び概



西部メイン会場

要については次のとおりです。（敬称は略させていただきます。）

■研修Ⅰ 令和三年度森林整備事業の推進について

徳島県農林水産部農林水産基盤整備局
森林整備課 主査兼係長 黒川 啓司

林道事業の計画・設計・施工にあたって基準となる規程類の考え方や最近の改正内容、運用等について習得するとともに、本県の森林整備事業の推進について考える。

■研修Ⅱ 労働安全衛生について

徳島労働局労働基準部 健康安全課長 伊坂 卓司
三好労働基準監督署 労働基準監督官 小笠 元裕
阿南労働基準監督署 長 高島真由美
地方労働衛生専門官 木村 明人

全国の労働災害建設業関係の概況と徳島県における労働災害の実態について解説する。そして、その具体的事例から原因究明と治山林道現場における労働災害の回避策についての演習を行う。



西部サテライト会場

■研修Ⅲ 二〇〇四治山林道災害

― 那賀町阿津江地区の発災から
復旧まで ―

国土防災技術株式会社 四国支店 次長 稲葉 英昭

近年、台風や集中豪雨が大規模化・頻発化する傾向にあるが、本県で二〇〇四年に発災した治山林道災害事例から学び、今後の各地域における事前防災・減災対策に資することを目的とする。



東部会場

■研修Ⅳ 土木技術者の原点と今後の対応

セミナーⅦ

株式会社コンピュータシステム研究所 松野 哲哉

新担い手三法の改正により、本格的に働き方改革・生産性向上・災害時の緊急対応強化が進められることとなったが、これらに対応するための施工管理上の基本的な知識を習得する。

また、山間部の急峻で狭隘な施工条件下での労働災害の未然防止において重要となるリスクアセスメントについて、事例を基に必要な知識を解説する。



南部会場

「ドローンを活用した災害時情報収集演習」の実施について

徳島県森林整備課 森林整備担当

令和三年十月二十九日に徳島県三好市井川町（井川スキー場腕山）において「ドローンを活用した災害時情報収集演習」を行いました。

当演習は、徳島県と四国森林管理局との間で、平成三十一年三月十八日に締結した「林野災害時におけるドローンの利活用に関する協定」を契機に毎年実施しており、林野災害時に災害情報を迅速かつ的確に把握し、早期復旧に繋げるとともに、国・県・市町村等との連携強化を目的として実施しています。今回の演習は、参加対象を四国四県に拡大し、四国森林管理局、各森林管理署（所）、徳島県、愛媛

県及び山地防災ヘルパーなど関係者四八名が参加しました。

三回目となる今回は、

- ・ 手動飛行による林地被害箇所空撮
- ・ 空撮画像を Webex、Zoom、Facebook で関係機関にライブ配信
- ・ 自動飛行による測量及び林道沿線の広域被害調査
- ・ 空撮画像の解析及びオルソ画像・図面作成研修

を行い、特に昨年度の課題であったライブ配信については、二種類（Webex、Zoom、Facebook）の Web 会議ツール等による比較・検証を行いました。

検証の結果、映像の安定度や鮮明さ、配信の遅延状況など各ツールの長所・短所が確認され、いざ災害発生時においても活用が期待されるものでありました。

また、自動飛行により収集したドローン空撮画像の解析及びオルソ画像・図面作成等の二次的な活用については、実際に災害復旧事業の計画資料として作成・使用した図面を事例として説明が行われるなど、本番さながらの内容であり、参加者からは、一日を通して大変有意義な研修であったとの感想もいただきました。

結びに、今後も、新たな技術を取り入れた演習を継続して実施することで、災害対応力の更なる強化・向上を目指すとともに、関係機関の連携を一層強化していきたいと考えております。



ドローンによる調査



県庁へのライブ配信



図面作成等研修の状況



空撮映像をモニターで確認



自動飛行の状況



「新年の抱負」



西部総合県民局農林水産部
(美馬)
森林整備担当係長
福田 誠 司

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、会員の皆様には大変お世話になりました。まだまだ若輩者と思っていましたが、年男（寅年）を迎えることになりました。

一九九三年に入庁して池田農林事務所の林道担当から始まり各事務所と県庁を一周りして現在は美馬庁舎で林道の担当をしています。

新人の頃は、「図面を焼いておいて」と言われて、真冬の寒くて暗い夕方に庁舎の屋上でアンモニア臭がする青焼機で図面を何枚も焼いていた思い出があります。

何気なく図面を焼いておいてと言われ、疑問なく普通にコピーをしていましたが、昔は実家の畑で燃やせるゴミを焼いていたので、「焼いておいて」と言われると、燃やしてしまってもいいのかなとも思っていました。

またこの頃仕事で使っていたカメラは、一眼レフカメラで中にフィルムが入っていて、とにかく撮るだけ撮って自分が納得できる写真なのかどうかはカメラ屋さんでフィルムを現像してもらうまでわかりませんでした。

仕事については、「飲みにケーションができれば

大丈夫」と教わり、仕事終わりの飲み会では「腹を割って話をすれば何でもわかりあえる」

「今夜は無礼講だから上司や部下の立場は関係なく何でも思ったことを話そう」と言って頂き、調子に乗って日頃思っていることを話していたら、次の日に上司が全てを覚えていて後悔した苦い思い出もあります。

現在はコロナウイルスの影響で飲み会や会食も減りオンライン飲み会等、飲み方も付き合い方もかなり変化してきました。

話は脱線しましたが、新年の抱負は、「新しいことに挑戦する」です。目標を持ち続けてあきらめずにチャレンジをすれば、ZOOTOWNの創業者である前澤友作氏のように宇宙へ旅行をすることも可能です。

まだまだ新型コロナウイルスには警戒しなければなりません、本年も会員の皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

「新年のあいさつ」



森林整備課森林整備担当
主任主事
滝 根 裕 太 郎

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

さて、年が過ぎるのも早いもので、気がつけば三十代も折り返し地点を過ぎ、おじさん街道をまっしぐらに突き進んでおります。

三十歳で入庁した私も、県職員として六年が経ちました。入庁当時から森林整備担当として配属されましたが、思えば土木の「土」の字も知らなかった私が現場監督員として現場に赴き、現場の皆様には多大な迷惑をおかけしました。素人同然の私が監督員としての業務を勤め上げることができましたのも、ひとえに現場で親切丁寧にご指導してくださった皆様や、仕事のいろはを教えてくださいました上司のおかげです。この場をお借りしまして改めてお礼申し上げます。

現在は今まで培ってきた現場経験を活かし、県庁で森林整備担当業務に励んでいます。現場に赴く機会も激減し、慣れないデスクワークに悪戦苦闘の毎日です。業務で歩かなくなり、コロナ禍での自粛も相まってか、お腹周りが少し気になってきました。趣味の阿波踊りも二年連続踊らずじまいでしたので、ますますメタボ化が進んでおります。今年こそは新型コロナウイルスの脅威が去り、晴れて「踊る阿呆」として街に繰り出せることを願います。

ところで、今年の寅年は「壬寅」の年だそうです。ネット情報によると、壬寅の年の意味は、「厳しい冬を乗り越え、新たなステージに向かう準備段階の年」とのことです。まさに、これまでのコロナ禍による自粛を耐え抜き、新たな日常生活を送る年になるのではないのでしょうか。マスクを取り外し、皆様方と談笑している、そんな一年となって欲しいものです。

最後になりましたが、本年も皆様方が笑顔（ガオー）に過ごし、素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

● 2022年度版 (2022.4.1~2023.3.31) ●

全森建福祉共済制度

— 災害保障特約付団体定期保険 —

ご加入のおすすめ



治山事業により守られる緑

制度の特長

1. お手頃な掛金で大きな保障が得られます。
2. 業務上・業務外を問わず24時間保障されます。
3. 制度への加入申込み、保険金等の受取人は事業主となります。
4. 掛金は全額損金または必要経費に算入できます。
5. 保険期間は1年で剰余金があれば配当金として還元されます。
6. 医師の診査はなく告知書扱いで加入できます。

【ご意向に沿った商品内容か必ずご確認ください】

この保険は、死亡等の保障を目的とする保険期間1年、保険料掛け捨て型の生命保険です。

重要事項説明(契約概要・注意喚起情報)ならびに「当リフレット」に記載の保障内容・保険金額・保険料等がお客様の
ご意向に沿った内容となっているかを必ずご確認くださいのうえ、お申込みください。

お問い合わせ先



一般社団法人 **全国森林土木建設業協会**

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル4F

TEL(03)3581-3336 FAX(03)3581-3341

福祉共済制度

山間僻地を共通の職場とする「全森建」会員のリスクを全国の仲間で分担し合い、スケールメリットを生かして、会員の事業発展に寄与するとともに「全森建」の絆を更に深めるために創設された制度です。

保障内容と月払掛金

希望の口数をご自由にご選択してください。

加入口数		1口		2口		3口		4口		5口	
保障内容	病気による場合	200万円		400万円		600万円		800万円		1,000万円	
	不慮の事故による場合	300万円		600万円		900万円		1,200万円		1,500万円	
	障害給付金	70万円～ 10万円	140万円～ 20万円	210万円～ 30万円	280万円～ 40万円	350万円～ 50万円					
	入院給付金	1日につき 1,500円	1日につき 3,000円	1日につき 4,500円	1日につき 6,000円	1日につき 7,500円					
性別		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
月払掛金 (概算)	年齢(生年月日)										
	15歳～35歳 (S61.10.1生～H19.9.30生)	474	391	948	782	1,422	1,173	1,896	1,564	2,370	1,955
	36歳～40歳 (S56.10.1生～S61.9.30生)	526	473	1,052	946	1,578	1,419	2,104	1,892	2,630	2,365
	41歳～45歳 (S51.10.1生～S56.9.30生)	612	519	1,224	1,038	1,836	1,557	2,448	2,076	3,060	2,595
	46歳～50歳 (S46.10.1生～S51.9.30生)	754	623	1,508	1,246	2,262	1,869	3,016	2,492	3,770	3,115
	51歳～55歳 (S41.10.1生～S46.9.30生)	968	747	1,936	1,494	2,904	2,241	3,872	2,988	4,840	3,735
	56歳～60歳 (S36.10.1生～S41.9.30生)	1,272	875	2,544	1,750	3,816	2,625	5,088	3,500	6,360	4,375
	61歳～65歳 (S31.10.1生～S36.9.30生)	1,796	1,073	3,592	2,146	(単位:円)					
66歳～70歳 (S26.10.1生～S31.9.30生)	2,526	1,353	5,052	2,706							

(記載の掛金は加入総口数が2,500口以上5,000口未満の場合です。)

☆更新時の年齢により、掛金は変わりますのでご確認ください。

☆記載の掛金は概算掛金であって、正規掛金は申込み締切後算出し、初回より適用します。

☆掛金には制度運営費が含まれています。(保険料とは、掛金から制度運営費を除いた分をいいます。)

★ 保障内容について ★

- ◆死亡保険金 保険期間中に死亡されたとき、お支払いします。
- ◆高度障害保険金 加入(増額)日以後の病気やケガによって、保険期間中に別表1の第1級(高度障害状態)に該当されたとき、お支払いします。
- ◆災害保険金 保険期間中に発生した不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故の日から起算して180日以内に死亡されたとき、または保険期間中に発病した別表2の感染症により死亡されたとき、お支払いします。
- ◆障害給付金 保険期間中に発生した不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故の日から起算して180日以内に別表1の障害状態に該当されたとき、お支払いします。
- ◆入院給付金 保険期間中に発生した不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故の日から起算して180日以内に日本における病院・診療所またはこれと同等とみなされる日本国外の医療施設にその傷害の治療目的で5日以上入院されたとき、1日につき、所定の入院給付金をお支払いします(1日目から)。ただし、同一の不慮の事故について通算して120日(更新前の入院日数を含みます。)を限度としてお支払いします。

※不慮の事故とは急激かつ偶発的な外来の事故で約款に定めるものをいいます。

とくしま木づかいフェア2021への出展

令和三年十一月二十・二十一日の二日間、板野町「あすたむらんど」において、とくしま木づかいフェア2021が開催され、昨年度に引き続き、徳島県治山林道協会ブースを出展しました。

今年も晴天に恵まれ、二日間で約六千人を超える来場者があり、親子連れを中心に、興味深く展示を観覧いただきました。

出展内容としては、当協会主催の写真コンクールの受賞作品をはじめ、治山林道工事における木材の利用状況や防災減災等に関するパネル展示を行いました。

治山林道事業は、「県民の暮らしの安心安全」の確保、そして「林業の成長産業化」を支える「縁の下の力持ち」として、今後ともこの様な機会を設け、幅広く県民にPRして参ります。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年も、依然として収束が見通せないコロナ禍の中ではありましたが、アフターコロナに向け、経済活動が徐々に再開され始めました。一方で本県の豪雨等による災害は、2年続けて比較的少ない状況にありましたが、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、社会経済活動が大幅に制限され、森林・林業を取り巻く現状は厳しさを増してきました。

このような中で、防災・減災・国土強靱化の推進を含む「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」のための補正予算と令和4年度当初予算を合わせた林野一般公共事業予算は、目標額の2,600億円を大きく上回る2,700億円を確保することができました。

これはひとえに、会員の皆様のご支援・ご協力の賜物です、ありがとうございました。今後とも引き続き予算獲得に向け十分気を引き締めて、取り組んで参りたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

編集責任者 井関 廣幸

本協会の主な動向 (10月～12月)

10月

- 7日(木) 全国治山林道協会長会議 (広島県広島市)
- 8日(金) " (広島県東広島市)
- 25日(月) 令和3年度治山林道技術研修会
(西部会場：美馬市・三好市)
- 26日(火) " (東部会場：徳島市)
- 27日(水) " (南部会場：那賀町)

11月

- 20日(土)・21日(日) とくしま木づかいフェア2021
(板野町：あすたむらんど)
- 24日(水) 令和3年度日本林道協会通常総会 (東京都)
2021治山・林道のつどい (東京都)
令和3年度治山・林道コンクール表彰式 (東京都)
令和3年度全国森林土木建設業協会技術労働委員会 (東京都)
- 25日(木) 徳島県選出国議員要望活動 (東京都)
- 26日(金) 森林整備・治山事業促進議員連盟「緊急決起大会」 (東京都)

12月

- 20日(月) 治山林道事業に関する知事要望 (徳島市)